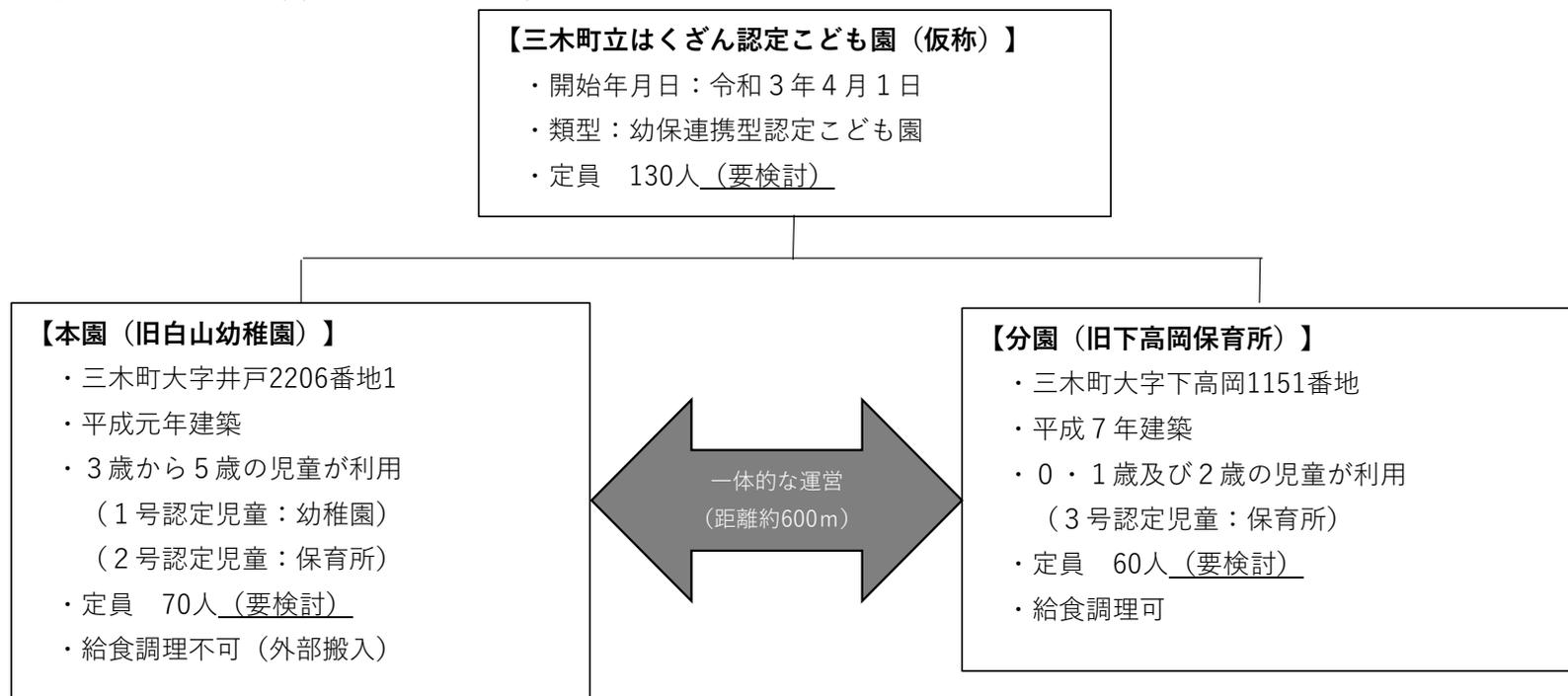


●分園式認定こども園のイメージ等

(資料2)

既存施設の最大限の活用と幼稚園・保育所がこれまで担ってきた役割や実践内容を基本としつつ、それぞれの良さを活かした質の高い教育・保育を一体的に行う認定こども園の設置を検討する。



改善効果

- ・3歳以上の子どもは、保護者の就労状況等に関わらず、教育・保育を一緒に受けることができ、幅広い交流ができるとともに適正な児童数・クラス数が確保される。
- ・保護者が就職や退職等しても、退園することなく通い入れた園を続けて利用できる。
- ・利用ニーズの高い0から2歳児の受け皿の確保になる。
- ・保育所の保育環境の向上になる。（遊戯室の使用等）

課題

- ・統合時は子どもにとって環境の変化が大きい。
- ・3歳から通う園が変わるので、環境の変化がある。
- ・長時間利用児と短時間利用児が一緒に生活するため、迎えが遅い児童への心理的な影響が懸念される。
- ・集団が大きくなった場合、教諭や保育士等によるきめ細やかな配慮が行き届かなくなることが懸念される。